

<活動記録><研究活動>データアーカイブ研究部門活動報告

著者	奥野 卓司
雑誌名	関西学院大学先端社会研究所紀要
号	15
ページ	182-183
発行年	2018-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10236/00026917

■ 活動記録 ■

◆ 研究活動 ◆

データアーカイブ研究部門 活動報告

奥野 卓司（関西学院大学社会学部教授／先端社会研究所所長）

今年度は、先端社会研究所研究員が収集した調査データの保存・整理作業をおこなうとともに、現代日本文化研究共同研究会を開催し「AI/AD（人工知能と自動運転）」研究およびアーカイブズに関する調査研究を進めた。

現代日本文化研究共同研究会では、「AI/AD（人工知能と自動運転）」研究の成果出版に向けて研究員間での議論を深めた。成果公開の一環として、既出論文「人工知能と自動運転によるモビリティの変容と課題－AI時代の「移動の社会学」に向かって－」（『先端社会研究所紀要』第14号）を『ヤマハ発動機 技報』No.53に転載した。一方、データアーカイブ研究については、とくにテキストマイニングに関する議論を行なった。その成果を論文として本紀要に掲載している（「大量テキストデータからのマイニングによる近未来社会予測の試み－小松左京作品を事例として－」（共著））。また今年度はとくに、国文学研究資料館主催の「アーカイブズ・カレッジ（史料管理学研修会）」に参加し、近年のデータアーカイブ化の動向に関する知見を広めた。本カレッジ修了論文をもとに作成した研究ノート「社会調査データのアーカイブ化をめぐる現状と課題について」も本紀要にて公開している。2017年度に開催した研究会は以下の通りである。

現代日本文化研究共同研究会（計8回）

日 時：4月5日（水）13:00～18:00

場 所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス

テーマ：「AI/AD 研究について」

参加者：5名

日 時：6月5日（月）13:00～15:00

場 所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス

テーマ：「AI/AD 研究について」

参加者：5名

日 時：7月28日（金）11:00～13:30

場 所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス

テーマ：「AI/AD 研究について」

参加者：4名

日 時：9月15日（金）13:00～15:00

場 所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス

テーマ：「AI/AD 研究について」

参加者：4名

日 時：10月24日（火）14:00～16:00

場 所：関西学院大学 先端社会研究所セミナールーム

テーマ：「データアーカイブからのテキストマイニング+KJ法による解析の方法」

参加者：4名

日 時：2017年11月16日（木）18:30～20:00

場 所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス

テーマ：「データアーカイブからのテキストマイニング+KJ法による解析の方法」

参加者：5名

日 時：2017年12月15日（金）11:00～14:00

場 所：関西学院大学 社会学部棟大学院生室-2

テーマ：「データアーカイブからのテキストマイニング+KJ法による解析の方法：
論文作成に向けての議論」

参加者：3名

日 時：2018年1月26日（金）11:00～14:00

場 所：関西学院大学 社会学部棟セミナールーム2

テーマ：「データアーカイブからのテキストマイニング+KJ法による解析の方法：
論文作成に向けての議論」

参加者：3名